

2007 年度

科目名	対象学科・学年 文学部コミ3回生 人間人社3回生	担当者
情報社会学 A		小坂 暢幸
授業テーマ 実社会で活躍しているコンピュータシステムを知り、社会に出てからも役立てる。		
授業の概要と目標 情報化社会と言われ、様々な情報処理機器や、パーソナルコンピュータが稼働している。又、インターネットやカード社会など、媒体もいろいろな形で存在している。 情報処理システムの役割や仕組みを知り、実社会に出て、役立つ講義内容とする。講師は、実社会のコンピュータ会社の経営者で、具体的なシステム内容や、ビジネスについて講義する。		
評価方法 出席率(70%)と、レポート提出(30%)		
テキスト 情報社会学	著書 小坂 暢幸	出版社 (株)グヒル・テクノロジー
参考書	著書	出版社
授業スケジュール・内容		
前 期		
1. 情報処理システム	コンピュータの、基本構造を知る。	
2. 情報の保管システム	情報はファイルという名で保管され、原理と装置を知る。	
3. 通信とネットワーク	インターネットやオンラインシステム等、回線を使用したシステムを知る。	
4. データとデータベース	データの扱いと、データベースについて知る。	
5. 情報産業と業界	コンピュータ業界の構成や、各会社の内容を知る。	
6. 販売と販売管理	ビジネスの仕組みで、販売から納入、集金までの流れを知る。	
7. 流通システム	卸売、小売、コンビニ、運送系等、流通を知る。	
8. 座席予約・発見システム	オンライン・リアルタイムシステムで、みどりの窓口等の、システムの仕組みを知る。	
9. カード会社	キャッシュカード、クレジットカード等、様々なカードの仕組みと注意点を知る。	
10. 金融システム	銀行の仕組み、銀行で活躍するコンピュータ、ATM等を知る。	